

令和5年度 第1回番組審議会

◇日時 2023年6月8日(木) 10時40分～12時00分

◇場所 テレビトクシマ 本館5階(徳島市新蔵町1丁目17)

◇出席者 ○委員(5名) ○ケーブルテレビ徳島(4名)

副会長	丸茂 晃裕 氏	代表取締役社長	梅田 真司
委員	上野 由佳 氏	コンテンツ事業部 部長	中山 哲也
委員	井内 泰 氏	同 制作グループ 部長代理	清重 和生
委員	松島 真由美 氏	同 番組評価・企画担当部長(事務局)	
委員	植上 良恵 氏		元木 秀章

◇番組に対するご意見(一部抜粋)

①「幹葉が行く吉野川大紀行」

- ・今回初めてMCの幹葉さんを画面で見たが、阿波弁が独特で個性的という印象。話し方で強めの阿波弁が気になった。
- ・天候に左右されたせいか、映像はところどころ暗いシーンがあった。撮影スケジュールの都合もあるだろうが、もっと明るく晴れた日を選んで撮る方が、より良さが伝わるのではと思った。
- ・紀行番組ということで、地域の歴史や文化、暮らしぶりを伝える内容は良かったが、冒頭部分からのMCのキャラクターとナレーションの落差が大きくて、これはバラエティーなのかドキュメンタリーなのかと見ていて戸惑った。
- ・番組のターゲット層は若者なのかシニアなのか、誰に設定されているのかがよくわからなかった。もしシニア向けとすると、おそらく最後まで見てくれないのではないかと感じた。終始MCのテンションが高くて早口なことから、見ていて疲れる感じがした。MCのキャラをどう生かしていくかによって、今後の番組の作り方も変わってくるのではないかと考えた。
- ・今回は冬から春先にかけて撮影されたものと思うが、今後の展開という点では、シーズンごとに魅力があるので、季節を変えて作ってあげればおもしろいのではないかと考えた。
- ・MCについては個人的には好きなキャラクターで、番組から元気をもらえるように感じた。たしかにキャラが立っているのが好みは分かれそうだが、せつかくの特徴あるキャラクターなので、そのしゃべりを生かす体験レポートの部分と、「情報」としてのナレーション部分とを分けて整理した方がいいのかもしれないと思った。
- ・地図は、簡略過ぎずもう少し地理的なものがあった方が良かった。番組を見るとやはり行ってみたいと思うので、ある程度の観光の情報なども加えてほしい。
- ・映像もきれいで、またナレーションも良かったが、MCのキャラは自分とは合わなかった。申し訳ないが、方言が過剰で徳島弁が自然に感じられず、番組に入り込めなかった。
- ・せつかくならMCの知らないところばかりに行くより、本人が懐かしと思う、吉野川の知っているところにも行った方が良かった。
- ・若さがあふれた元気いっぱいのレポートで、吉野川の魅力を上手に伝えていたと思う。一方で

ナレーションは学校の授業のようなテイストで、そのギャップの大きさが気になった。

- ・[当社] 今回「吉野川」をテーマに取り上げたが、その魅力については非常に範囲が広く、当初どのように取り上げるかが悩ましかった。歴史や文化、暮らし、自然などについて、上流・中流・下流とそれぞれに見どころがあるうえ、まだあまり知られていないところもトピックスとして拾い上げようとした結果、最終的には観光プロモーション的になったが、1度きりではとても伝えきれないと感じている。今後については、シリーズ化するかどうかを含め検討していくが、例えば「橋」や「洪水」などについては地元の人に話を聞くなど、内容をさらに深掘りして紹介していきたい。また幹葉さんのキャラをうまく生かした展開についても考えていきたい。

②「えかところ4(しこく)」～ 歴史に触れ大自然を満喫(愛媛・^{おしま}小島、高知・横倉山を視聴)

- ・[当社] この番組は四国の魅力を発信する情報番組で、四国のケーブルテレビ局が共同で制作している。まだまだ一般にはあまり知られていない魅力を取り上げて、これをきっかけに四国の良さを知ってもらい、四国内外から番組で紹介した各地に足を運んでもらおうという趣旨で作っている。テーマは昨年度に続きアドベンチャーツーリズムということで、歩きながら各地の自然に触れ、歴史や文化、見どころなどを紹介する内容となっている。
- ・愛媛県今治市沖の「小島」については、個人的に知らない場所であり大変興味を持った。砲台跡など海岸要塞が当時のまま残っている貴重な遺跡を見て魅力を感じたので、今度ぜひ行ってみたいと思った。
- ・「小島」では、例えばこうした砲台ができた時代背景や歴史的な出来事などを、かみくだいてもう少し情報を増やしてくれると、歴史にうとい自分でも当時の状況を想像しながら、もっと興味深く映像を見られたかもしれない。
- ・高知県の「横倉山」では、(目的があればいいが)あえて冬に山に入るのはもったいないと感じた。いろんな植物や花の紹介の場面では写真で見せていたが、実際はそれがどんな風に咲いているとか、こんな魅力があるとかは、それぞれの季節でないと伝わらないと思うので、ぜひ一番いい季節に行っていたらと思う。また冬なら、冬らしいコンテンツやならでの魅力があると思うので、それを紹介してほしい。
- ・知られていないところをどんどん掘り起こして番組にすることは、四国(地域)にとって大変ありがたいことだと思った。
- ・歩きながらしゃべるので、一部ガイドさんの声が聞き取りにくく分かりにくいところがあった。最低限のテロップを入れるとかナレーションで補うとかがあればいい。
- ・アドベンチャーツーリズムということで山の中の映像が多くなるが、実は山の中の景色はどこも代わり映えせず案外似ている場所が多いので、ここならでのカットを探していくことが大事だと思う。
- ・MCの方の声やテンションがこうした魅力を紹介する番組にしてはやや低いように思った。どちらかというと教育番組のように見えてしまって、教えてくれるのはありがたいが、魅力が今一つ伝わってこないという感じがした。もう少し元気やインパクトのあるMCにするとか、つかみを工夫するとか、明るい音楽を流すとか…、全体的に見ていてテンションが上がる感じにしないと、見る側も労力を要するので、せつかくの番組が最後まで見続けてもらえないのではと思った。素材やコンテンツの魅力そのものは良いので、伝え方の工夫がもっと必要だと思う。

- ・今までどちらも知らなかったスポットを、ガイドさんの分かりやすい説明で知ることができてとても良かった。全体としてはもう少し元気さがあればよいと思った。
- ・[当社]この番組は1県あたり15分の尺で、全体としては四国4県なので1時間の番組となっている。1時間続けて見るのは大変という声がある一方で、魅力を伝えるには15分程度は最低限必要との意見もある。こうした番組の最適なかたちやあり方はどうなのかなども模索しながら、今後とも四国の魅力をどんどん発信していけるよう各局と制作を続けていきたい。

以上